学校法人福岡大学第１期中長期計画（2020-2024）　総括

Ⅰ．第１期中長期計画策定の経緯

18 歳人口の減少、グローバル化の進展、情報技術の革新など、高等教育機関を取り巻く環境は大きく変化しており、学校法人には中長期的視点に立った計画的な経営が求められています。

このような背景を踏まえ、学校法人福岡大学は、福岡大学創立 100 周年を迎える令和 16（2034）年を見据え、法人として果たすべき役割を再確認するとともに、事業の継続性と財政の健全性の両立を図る観点から、中長期計画の策定に着手するため、平成 30（2018）年 9 月に「中長期計画検討会議」を設置しました。

同会議では、まず福岡大学創立 100 周年を迎える令和 16（2034）年の将来像を設定し、その実現に向けて、令和 2（2020）年度からの 15 年間を 3 期（第 1 期：2020-2024、第 2 期：2025-2029、第 3 期：2030-2034）に分けて中長期計画を策定する方針を決定しました。その上で、第 1 期中長期計画の策定にあたり、大学協議会（現：教学協議会）等の全学的な会議体で意見を聴取しながら検討を進めてきました。

こうした検討を重ねた末、本学の創立 100 周年に向けた法人全体が目指す将来像を次のとおり定めました。

【令和 16（2034）年の福岡大学創立 100 年に向けて目指すべき将来像】
「時代と社会の要請に即応し、総合力を力強く発揮することで、地域と世界に向け、躍動する人材の育成とイノベーションを創出する拠点を目指す」

この将来像の実現に向け、令和 2（2020）年度からの 5 か年の計画として、令和 2（2020）年 3 月に「学校法人福岡大学第 1 期中長期計画（2020-2024）」を策定しました。

Ⅱ．第１期中長期計画の指針及び目標等

第 1 期中長期計画では、九州に位置する総合大学として地域との絆を大切にしつつ、これからの社会状況（Society5.0、グローバル化、人生 100 年時代、人口減少等）や持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals, SDGs という）等の社会的課題を視野に入れ、時代や社会の要請に対応すべく、教育・研究・医療の拠点として広く地域に、そしてグローバルに貢献することを目指し、以下の 5 つの指針を定めました。

【学校法人福岡大学第 1 期中長期計画（2020-2024）の指針】
1. 時代の要請や社会のニーズに対応した教育・研究・医療の提供
2. 先進的で高度な研究活動の遂行
3. アジア諸国との関係を中心にして行うグローバル人材育成
4. 福岡を中心とする地域の活性化と発展の促進
5. 変化の激しい時代に対応できる柔軟性のある組織の構築、財政基盤の強化

この 5 つの指針に基づき、福岡大学のミッションである「教育」「研究」「医療」「地域連携・社会貢献」に、これらを継続して行うための「組織改革・人事制度・財政基盤・施設整備」を加えた 5 つの分野について、第 1 期中長期計画における目標・推進項目を設定しました。

この目標等を達成するため、第 1 期中長期計画を従来から取り組んできた単年度ごとの事業計画と連動させることにより、着実に計画を実行してきました。さらに、事業計画における各取り組みの進捗状況、社会状況の変化や国の高等教育政策の動向などに応じて、適宜、第 1 期中長期計画の見直しも行いました。

第 1 期中長期計画の主な実績は、以下のとおりです。

Ⅲ. 第 1 期中長期計画の主な実績

教育
● 「データサイエンス･AI 入門」を開講後、認定制度「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）」に申請し、文部科学大臣の認定を取得 ● 留学生サポーター制度を導入し、学部留学生の学習面や生活面を支援 ● 奨学金「FU スカラシップ」を新設し、対象入試の成績優秀者への修学を支援 ● 障がい学生支援センターを設置し、障がいのある学生や合理的配慮が必要な学生を支援

研究
● 学内研究支援制度「領域別重点研究」を設置し、研究高度化への寄与及び研究成果の社会還元が特に期待できる研究を推進 ● 若手・女性研究者への研究支援を拡充 ● 学内にカーボンニュートラル推進拠点を設置し、カーボンニュートラルの取り組みを通じて文理融合・国際交流・社会連携を推進 ● 「福岡大学ベンチャー育成支援プログラム」を創設し、研究者に資金援助等を実施

医療
● 医師の働き方改革に対応した 3 病院（福岡大学病院、福岡大学筑紫病院、福岡大学西新病院）合同の勤怠管理システムを導入 ● 3 病院一体となった経営戦略体制の強化、医療経費の削減、病院経営を支える人材の育成、病院部門予算編成の改善などの諸改革を実施 ● (福岡大学病院・福岡大学筑紫病院)手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入し、低侵襲で高精度な手術を推進 ● (福岡大学西新病院)心臓リハビリ室を新設し、外来での心臓リハビリテーションを開始

地域連携・社会貢献
● 「福岡大学社会連携プロジェクト支援制度」の運用を開始し、社会の発展や課題解決に大きく寄与することが期待できる先進的･独創的なプロジェクトを支援 ● FU スポまちコンソーシアム等の地域関連事業を推進 ● 「福岡未来創造プラットフォーム中長期計画」（第 1 期）に基づき、共同研修、人事交流、施設設備の共同利用、各分野の産学官連携・交流を促進 ● 同プラットフォームの活動による私立大学等改革総合支援事業（タイプ 3）に採択

組織改革・人事制度・財政基盤・施設整備
● 私立学校法改正（令和 7 年 4 月施行）に伴い、理事会及び評議員会の権限や構成等を見直し、ガバナンス体制を強化 ● 組織再編に伴う業務効率化と働き方改革を推進し、職員の超過勤務時間を削減するとともに、ワークライフバランスを充実 ● 短期及び中長期の運用資金を見直し、資金運用収入の増加を企図 ● 公認室内プール、自修寮（男子寮・女子寮）、体育寮（男子寮・女子寮）、福岡大学病院新本館の竣工、西新病院新病院(仮称)新築工事に係る実施設計の完了 ● 学校法人福岡大学情報化推進ロードマップ 2025 に係るグランドデザイン及び情報システムプロジェクトロードマップを策定

解決していない課題や検討途中の取り組みについては、第 2 期中長期計画（2025-2029）で引き続き検討を進めます。